

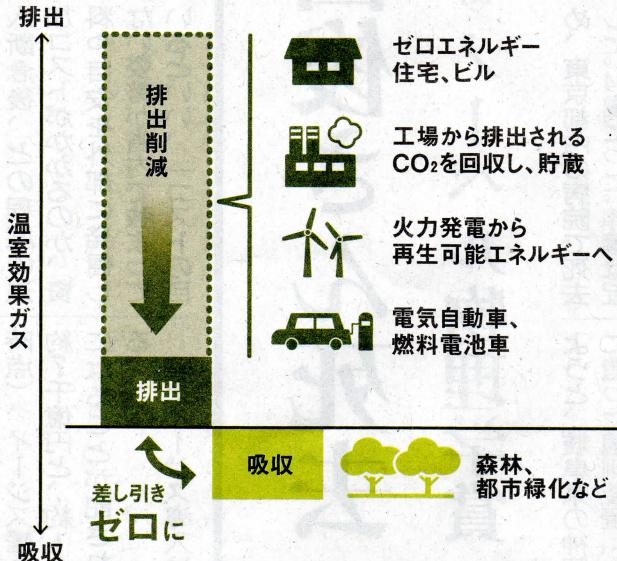
いちから

わがる!



温室効果ガス排出 「実質ゼロ」って？

温室効果ガス排出削減と森林吸収のイメージ



A コブク郎菅義偉首相が国会で地球温暖化対策の新たな目標を表明したね。

A 私たちの暮らしや経済活動で出る二酸化炭素(CO₂)やメタンなどの温室効果ガスを、「2050年までに『実質ゼロ』にする」と言った。地球全体で排出を早く減らさないと温暖化がどんどん進んでしまう。だから、50年までに実質ゼロを目指す国がすでに約120カ国もあるよ。

A 火力発電を減らして太陽光や風力などの再生可能エネルギーを増やしたり、省エネの徹底やガソリン車から電気自動車や燃料電池車への転換を進めたりして排出を減らす。それでも足りない分は、植物などが吸収する分を差し引いて收支でゼロになるようになるんだ。

A 植物は太陽光を浴びてCO₂を分解し、養分に変える光合成をしている。

A 新たに植林した森や、間伐などの適切な管理で、森林、街の緑化で植えた木などはいずれもCO₂の吸収源だ。また、農地に堆肥をとき込むと土壤に炭素をためたことになる。これらを合わせて吸収量で

C 実質ゼロって？

C それでどれくらい減らせるの？

A 吸収量の計算方法は、国連気候変動枠組み条約のガイドラインで決まっている。日本は、30年までに温室効果ガスの排出を13年比で26%減らす目標がある。そのうち2・6%相当を吸収によってまかなおうとしている。これが一つの目安になるかもしれない。

C 本當に「実質ゼロ」にできるかな？

A 簡単ではない。できる限り排出を減らす努力が欠かせないし、製鉄所などの取り組みと技術革新で排出自体をゼロに近づける必要がある。

(神田明美)